

避難生活支援リーダー/サポーター研修受講者のフォローアップについて

○フォローアップ実施の背景・目的

- 令和4年度避難生活支援リーダー/サポーターモデル研修は、5地域で開催、約250名が受講した
- 受講者には、各地域で学んだ知識や技能を活かして、地域での実践を継続することが期待される。
- あらためてカリキュラムをふりかえり、理解度を深めるためのきっかけづくりが必要である
- 他の受講者の状況などを知り、地域での取組イメージを考える機会が必要である

以下、フォローアップの内容について考えられる取組み案

(1) メールマガジンによる情報提供

- ・ねらい：「避難生活支援」に関する情報提供を定期的に行うことで、受講者がカリキュラムをふりかえり、理解度を高めるための契機にする
- ・内容：
 - 登録した受講者アドレス宛に、月1回程度のメールマガジン発行
 - コンテンツ例：
 - 避難生活支援リーダー/サポーター研修講師、関連する会議委員による受講者へのメッセージ
 - 避難生活支援リーダー/サポーター研修講師、関連する会議委員によるカリキュラムに関連するトピックスの紹介

トピックス例	内容(案)
避難所環境改善	・モデル研修で準備したグッズ紹介
過去の災害事例	・熊本地震、西日本豪雨、東日本台風等における避難所運営の実例紹介
ジェンダー	・ジェンダーの意味、ジェンダー役割、ジェンダー関係等
トイレ	・災害時のトイレ対策の重要性、具体的な工夫
食事	・食事改善の具体事例
在宅避難	・在宅避難者への対応
乳幼児・子ども支援	・乳幼児支援・子どものポイント、具体的な配慮すべき点

※令和4年度モデル事業実施自治体から、それぞれ地域において関連する研修や訓練等の情報提供も行っていただく。

岡山県矢掛町では、登録名簿のうち防災士を中心に、町内防災訓練や県主催のおかやま県民防災シンポジウム、隣県主催の防災講演会(倉敷市)など町内のイベント事や、県からの防災に関する案内があったときにLS研修受講者に情報を共有している。

(2) オンライン交流会の開催(受講者同士の交流)

- ・ねらい：各地の受講者が、講師や受講者同士で自由に情報交換する機会を設けることで、モチベーションの高めることや地域での実践の契機にする
- ・内容：
 - 受講者を対象にした平日夜間に1時間程度のオンラインミーティング
 - プログラム例：
 - 避難生活支援リーダー/サポーター研修講師からの話題提供、講師と受講者の意見交換

- ブレイクアウトルームを活用した受講者同士の交流、意見交換

(3) SNS を活用した交流プラットフォームづくり

- ・ねらい：受講者同士が情報交換する機会を設けることで、さらなる理解醸成・スキルアップへの関心・意欲を高める
- ・内容：
希望者が登録し、情報発信・交流できるプラットフォームを提供する
受講者の発信を促したり、関連する情報提供ができる世話人を募り、交流をサポートしていただく
※世話人によるサポートが必要であるため、事前の周知やサポート方法などあらかじめ調整する必要がある